

KOULU

CONGRATULATIONS ON YOUR GRADUATION



If you want to be happy, be.
Love the life you live. Live the life you love.

コウルはお子さまが人間としての根をしっかりと張り、
自己実現へ向かうこと、そのための環境整備をお手伝い
する学び舎です。

はじめに、卒業した子どもたちが
コウルで手にした贈り物を覗いてみましょう。





自分に正直でいる力。(純也)



コウルは一人ひとりの考えを分かり合い、認めてくれる場所です。

自分と違う考えを持つ人たちと、同じ場所で、
目標に向かって頑張ることは、社会人生活と似るものがあります。

会社勤めになると関わる人間は自分で決めにくくなります。

経営者なら話は別ですが、雇用される立場は、部署の人、上司などは
基本的に選べません。

その中で、分かり合い、意見を共有し、目標に向かって頑張ることは
コウルで培った力だと思います。

(涼子)



自分のストレスや
がんばれる限界を知り、
そして限界が近づいたらする、
自分が一番楽しいこと、
したいことを常に知っておくこと。

(由合恵)



会社の先輩から吸収力があるねと言われたことがあります。

この力の根っこには、鶴田先生からマンツーマンで身振り手振りで教えてもらい（iPadのタッチペンは指揮棒）、分からないことを聞きまくってたくさん吸収できた経験があったからだと思います。

入社3年目でグループ内では一番若手ですが、担当車種が一番多いです。

吸収の次は実行「input→output」ができるよう頑張っていきます！

（励）



私はコウルで何事も楽しんで
自分らしくいることの大事さを
学びました！

（里緒）

コウルで前向きに物事を考えることを
学びました。

仕事で嫌なことがあった時なるべく
ポジティブに考えるようにしています！

（里佳）



困難も経験やユーモアにするポジティブなマインド！

自分自身の為に選択し、媚びない人生を送ること！

コウルを通して得た事は勉強だけでなく、精神面のコントロールや自分軸で物事や将来を考えることが自然に身につけていました。

コウルを卒業した後も日常生活や人生の転機でそれらを役立てられていると思います。　（夢依）



勉強の面から気持ちの面まで沢山ある中で、
いちばん変わったなと感じるのが、『自分を表現できるようになったこと』です。
コウルで過ごした受験期では、自身の経験や鶴田先生の言葉のおかげで、
自分の気持ちを伝えることの大切さに気付きました。

大学生になり私は、昔は言われなかった「ももからしいね！」という言葉
たくさん言われるようになりました。

自分で自分らしさを表現することができていて、大切にできてる証拠である
と思いました！！

自分も鶴田先生のように、ひとりひとりの良いところを引き出すことができる、
ハッピーな保育者になれるように頑張ります。（萌々花）



高校を卒業してから学生の頃とは比べ物にならないような悩みや問題に直面する度に、鶴田先生がやっていたようにミスした自分に向かって「そういうところがかわいい!!」「そういうときもあるんだよね!!」と妹から白い目で見られることもありましたが、自分を責めずに受け入れて、少し無理矢理でもいいから前向きな言葉を全力で叫び続けました。

言葉にしていくたびに気持ちを切り替えられ、更にマインドセットに繋がりました！それによって、今の自分にはかなり難しい目標でもその目標に向かっていく自分のマインドや情熱が凄く整って、やる気十分な状態で立ち向かって行けるようになりました。

また、自分にとってマイナスな事や悪い事が起こった時もただ落ち込むのは本当にもったいなくて、逆に悔しさを燃料にして進んでやろうと考えるようになりました。

このコウルで培った考え方、表し方がマインドセットに繋がり何度も私を救ってくれたし、全体を見て自分自身が精神的に凄く強くなったなと感じます！

(風香)



在籍している時から実感している成長は

『自分を愛して大切にしていること』です。

そして先生から教わった1番素敵だなと思った言葉は

『自分の短所も素敵な個性』です。

今までは何かと誰かと比べてしまったり劣っていると感じる事が沢山ありましたが、コウルに入って時間が経つうちに『自分自分』と思えるようになり、自分のことが大好きになりました。

1番大きな糧になったことは先生やメイツのみんなにお菓子を作ってみんなが喜んでくれる『人を少し幸せにする・笑顔にすること』が

私の1番の好きなことだということにも気づかせて頂きました。 (優希)



「人の言うことをあんまり気にしない」ということです。

大学に出てみてもそうですが、高校の時から周りの言うことに気を取られすぎて、自分の気持ちをないがしろにしてる人が多いような気がしました。

先生はメイツの意志を1番に尊重してご指導してくださっていて、それが活きているのかもしれない！！大人に近づいているのに、自分の意思で自分のことを決めてない人って案外いっぱいいるんだなと思いました。

自分の意思でやりたいように勉強できていたり、やりたいことをしていることを本当に幸せに思います。

私自身本当に「親の目」というものが気にならなくなりました。（珠生）



キラッキラのコウルメイツ！自分らしく社会へ、世界へ羽ばたいております！



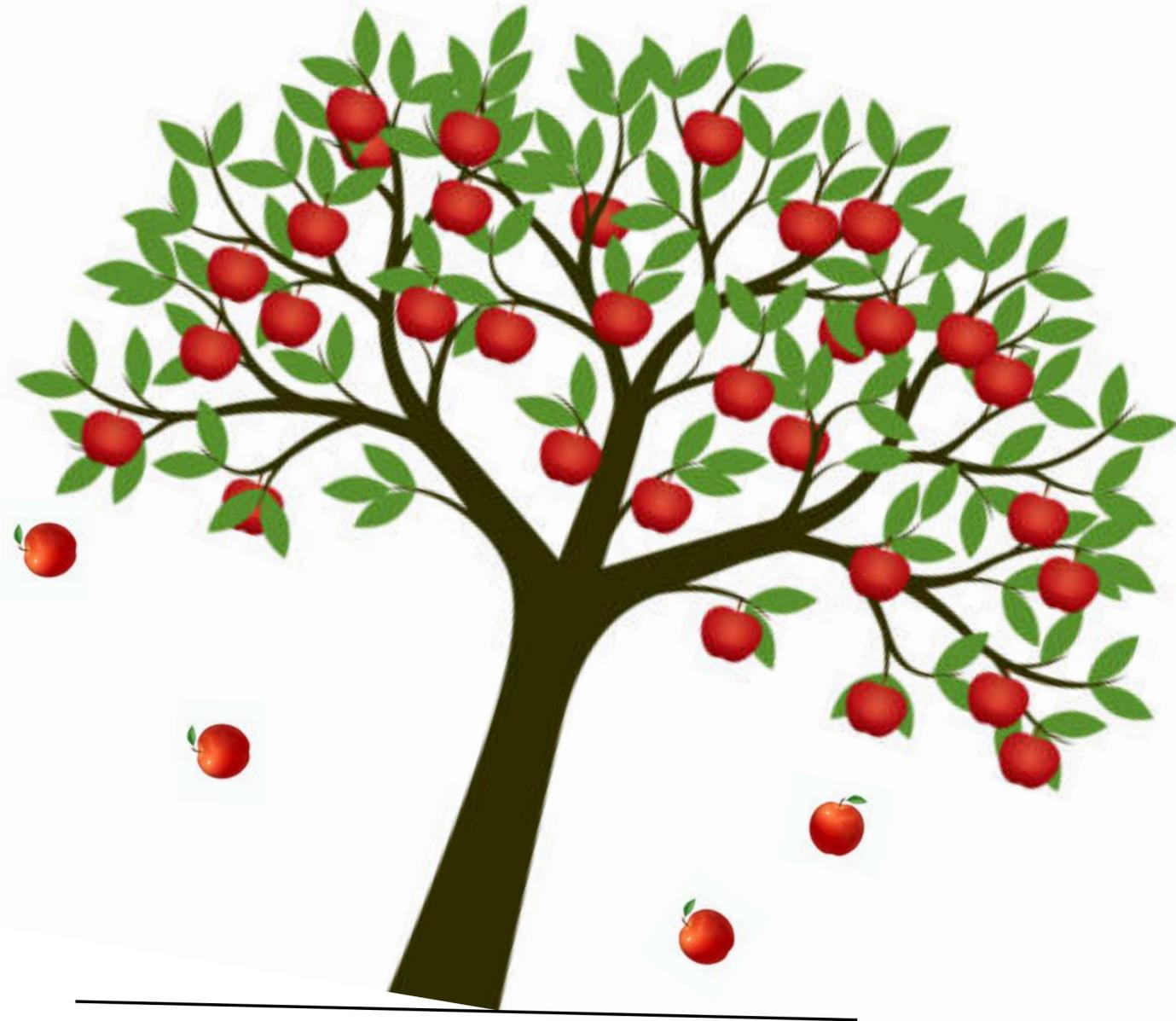
なぜコウルに通う子はこんなに幸せなのか。



いとも友達もだいたいコウルメイツの
川俣家の皆さん



例えば「学力」が
りんごの実だとします。



大事に大事に育てた木。
もしも台風の脅威に
さらされたとしたら・・・。
せっかく実ったりんごが落下。
強風で木そのものが倒れたり、
折れてしまったりすることも。

人間で言えば
どんなに学力を磨いたとしても
人としての根っこが張れていなければ、
外圧の影響をもろに受け、
その能力を十分に発揮することが
できなくなってしまう。



大事なのは土の中。

目には見えない土の中で
根っこがしっかりと
張られているからこそ
外部の強い刺激にも
順応することができる木へと
成長することができるのです。

ここで会社経営者・中間管理職に聞きました。 若手社員に関する上司の悩み

※直接聞き取り調査（2022）

- ①上司からの指示がないと動けない/自発的な自分の意思での取り組みがない。
= 自発性、自分で考えて動く力がない。
- ②自分の思いを表現したり、ビジネス文書やメールの文章作成に非常に時間がかかる。
= 自己表現ができない。国語力がない。
- ③注意されると元気がなくなり、努力する前に後ろ向きになる。
= 逆境に弱く自己を自分の手で育てる力がない。こころのセルフケアができない。
- ④社内での最低限のやりとり、他人とのコミュニケーションがとれない・とろうとしない。
= 積極性、コミュニケーション能力が不足している。
- ⑤ストレスコントロールができず、体調不良で休職する傾向が高い。
= からだのセルフケアができない。

→これらは公教育だけではなかなか身につけません。
社会に出るまでにトレーニングが必要です。

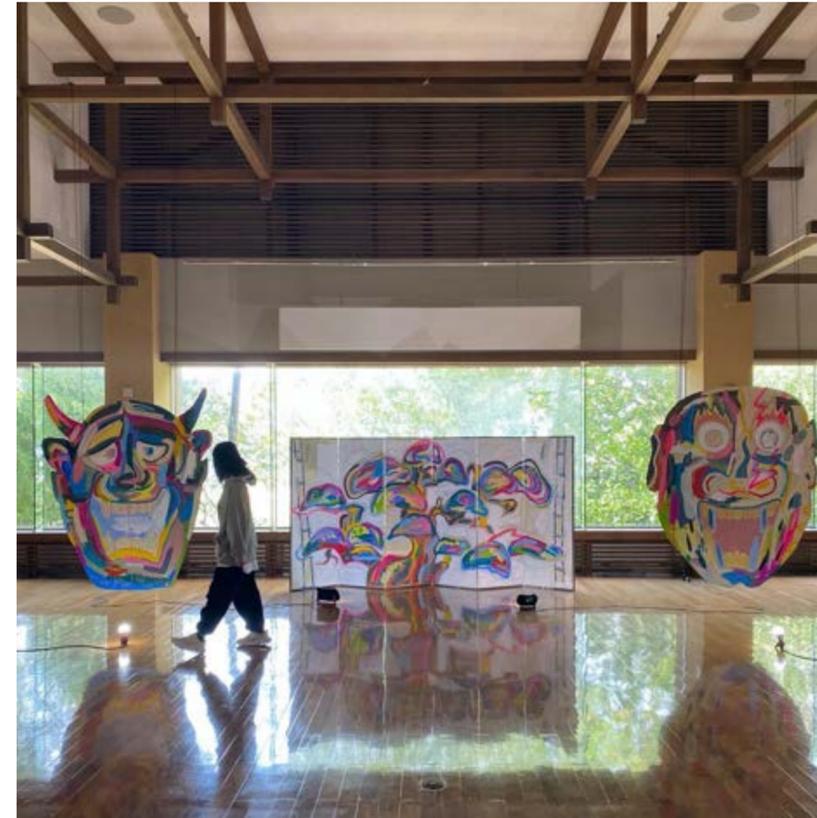
社会はどんどんと変わっていきりますが、
目まぐるしい時代の中で、変化することを恐れず
自分らしく生き抜いていくための土台になるもの
が、強固な親子関係と自己表現を内包する「国語
力」、「人間力」、「セルフストレスコントロー
ル」です。

土台がしっかり築かれているからこそ、磨き上げた
才能や学力を社会で生かすことができます。

人間力、国語力を養うコウルアプローチの一部を覗いてみましょう。

(おひとり、おひとりの状態に合わせて、段階を経て実施いたします。)

▶教室を飛び出して学びます。ピンときたら即行動！



図書館や文化施設で
好きなものを探究しまくる
自発学習をしたり！

お散歩しながらのアート鑑賞で
造詣を深めたり！

こちらは山形ビエンナーレ。
イベントにお出かけ
したり！

▶ことばの教育

その人のセンスが最も顕著にあらわれるのは言葉遣い。

人は言葉を発するとき、声帯を使って声を発し、その声を自分の鼓膜を通して聞きます。これは人から掛けられる言葉を聞くときよりも体を2倍使うことになります。つまり自分で発する言葉が最も自分の体に影響を及ぼすのです。

コウルは自ら発する「ことば」に着目し、詩やこころのノートでの内面表出、他者との関わりにおける言葉の教育、各人のお気に入りの本の紹介や朗読など、声や体を使って表現する時間を大切にした国語の授業を行なっています。

▶自分とは何者か？自分掘りワーク

／人を魅きつけるプレゼンテーションと面接

「自分は何者なのか。」

「この思いはどこからやってきたのか。」

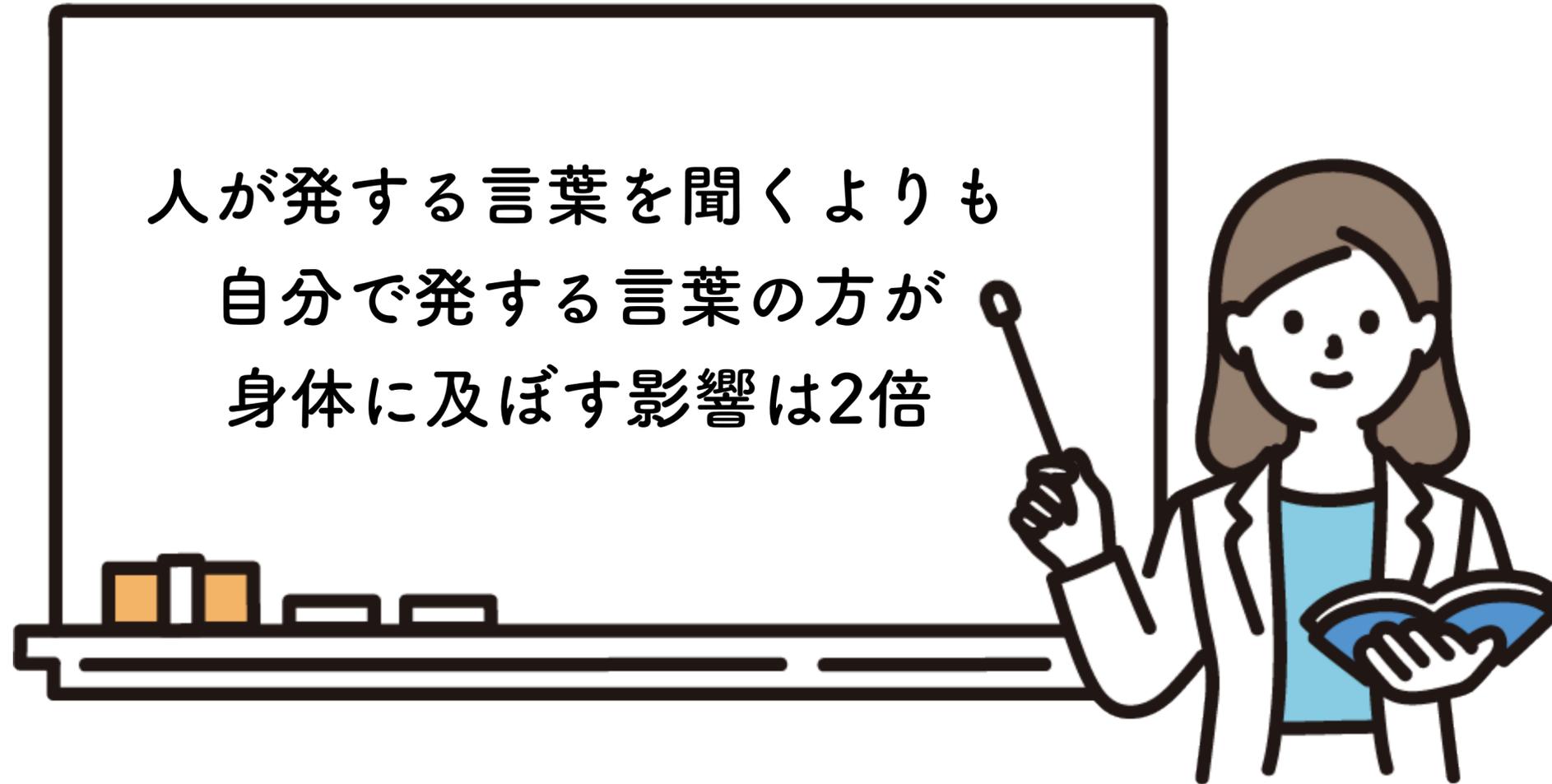
思いを他者にことばで伝える。

どんな表情で、どんな声で伝えたら、ちゃんと伝わるのだろうか。
自分自身をとことん研究し、「伝える」ための鍛錬を重ねます。



「ことば」に着目して 自分を好きになる努力を重ねる

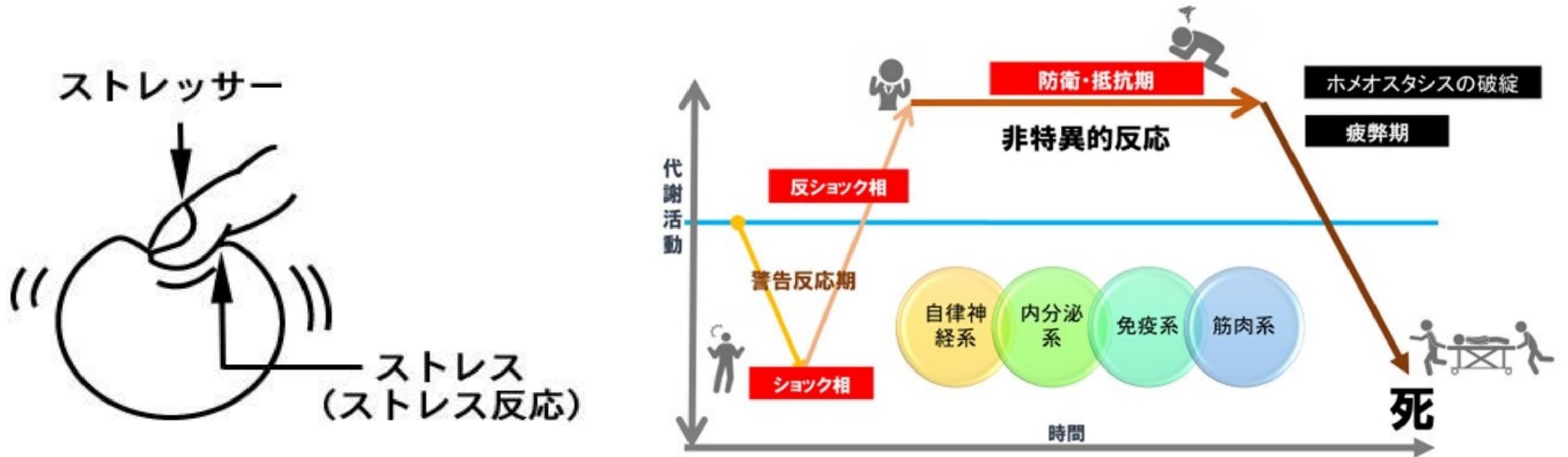
人が発する言葉を聞くよりも
自分で発する言葉の方が
身体に及ぼす影響は2倍



ストレスケア概論を学び、セルフケアを実践！

セリエの全身適応症候群

ストレスとは自律神経系や視床下部を介して、ストレスに抵抗している状態



今、子どもたちは・・・

2021年度 学校を30日以上欠席した不登校の児童生徒

24万4940人と過去最多

前年度 + 4万8813人（24.9%）増加

出典：「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校調査」（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/content/20221021-mxt_jidou02-100002753_2.pdf をもとに編集

主な要因は

なぜ?

「無気力・不安」が49.7%

「生活リズムの乱れ、あそび、非行」が11.7%

「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が9.7%

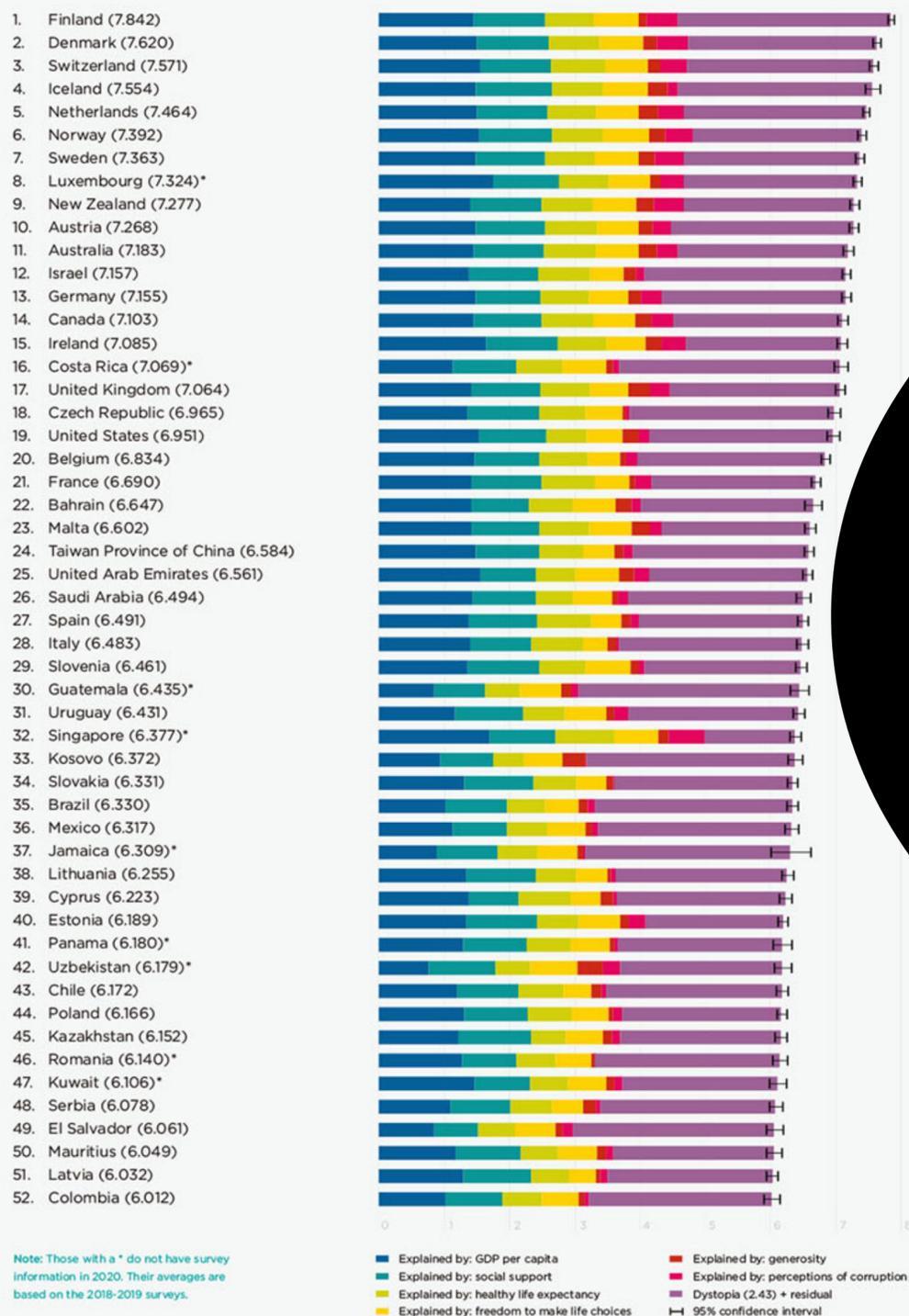
「親子の関わり方」が8.0%

出典：「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校調査」（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/content/20221021-mxt_jidou02-100002753_2.pdf をもとに編集

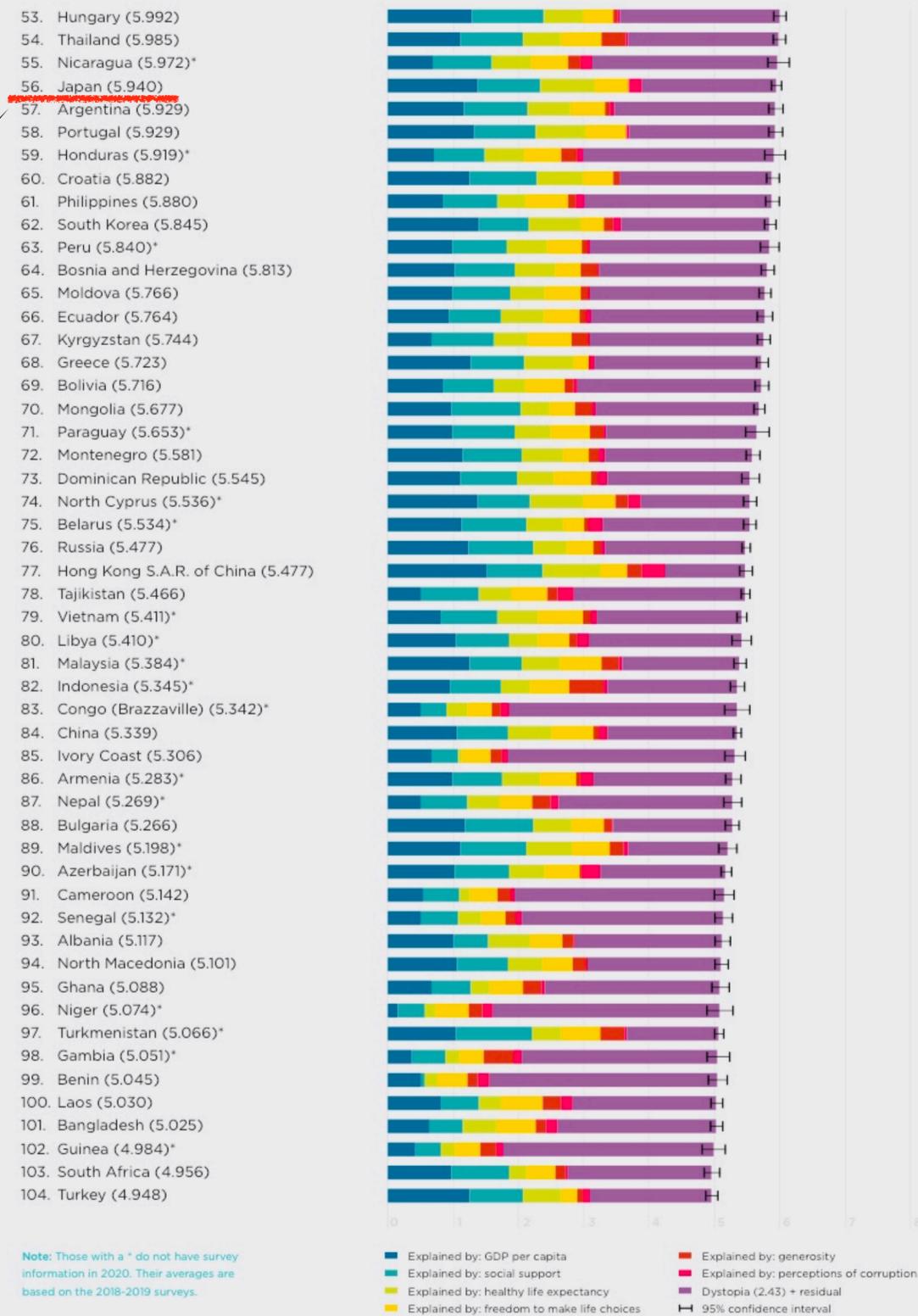
ここで世界幸福度ランキングを覗いてみましょう

Figure 2.1: Ranking of happiness 2018-2020 (Part 1)



国連が発表した2018年～2020年の世界幸福度ランキングで日本は先進国の中では低位である56位/149カ国を記録しています。なぜこんなに日本人の幸福度が著しく低いのでしょうか？

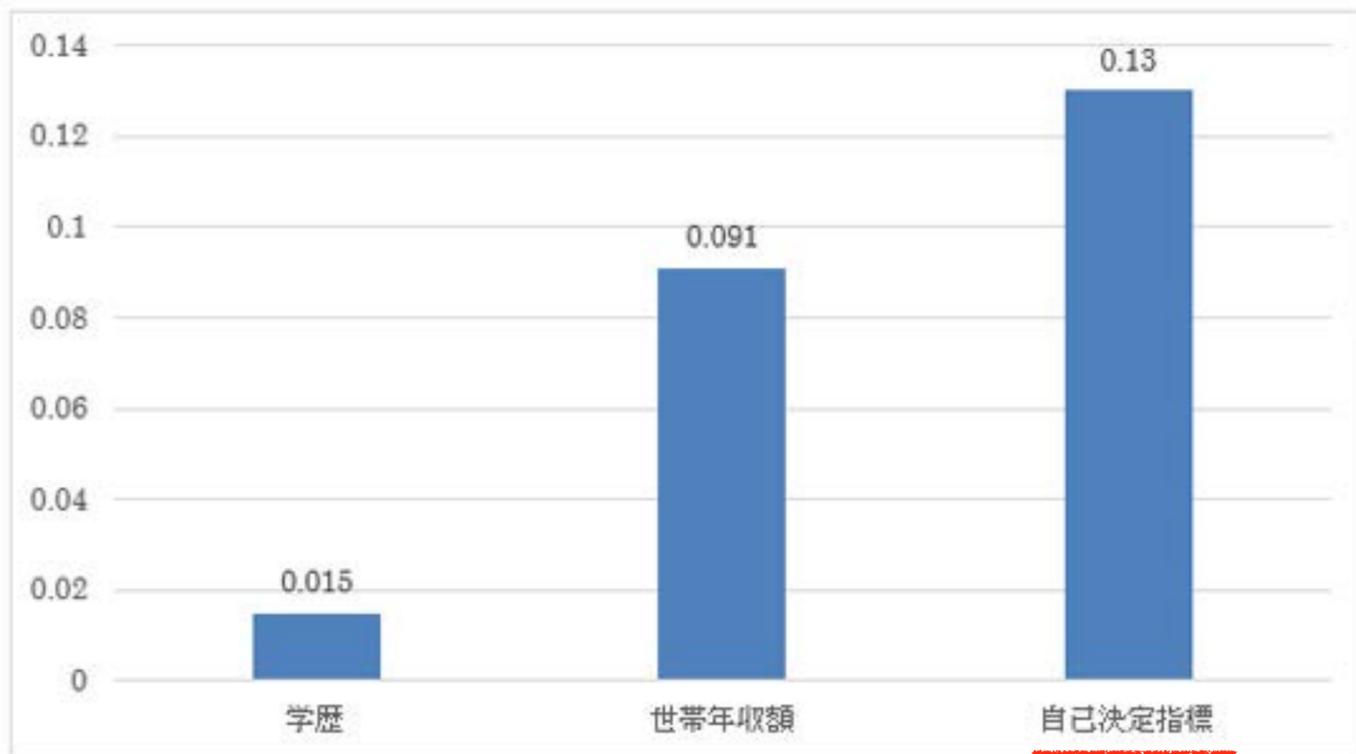
Figure 2.1: Ranking of happiness 2018-2020 (Part 2)



子どもにとっての人生の土台は自分で決めた人生を歩むことなのです。

神戸大学社会システムイノベーションセンターの西村和雄特命教授と同志社大学経済学研究科の八木匡教授は、国内2万人に対するアンケート調査の結果、所得、学歴よりも「自己決定」が幸福感に強い影響を与えていることを明らかにしました。

図：主観的幸福感を決定する要因の重要度（標準化係数）



ダントツ・・・！

①自己決定によって進路を決定した者は、自らの判断で努力することで目的を達成する可能性が高くなる。

②成果に対しても責任と誇りを持ちやすくなることから、達成感や自尊心により幸福感が高まることにつながる。

日本は国全体で見ると「人生の選択の自由」の変数値が低く、そういう社会で自己決定度の高い人が、幸福度が高い傾向にあることは注目に値する。

「幸福感と自己決定—日本における実証研究」（2018）
著者/西村和雄（神戸大学特命教授）、
八木匡（同志社大学教授）より引用

自己決定は脳幹の働きが鍵

脳幹は知情意に大きな影響を与えている
(知性、感情、意思)

脳幹が機能がダウンしていると
自分で決められな何も決められなくなっていく。
「やらされている」という感覚はストレスになり、
脳を疲労させ、やる気も失われます。

私たち大人がどう接するかが、お子さまの能力開発の鍵です。



生まれつき元気、やる気のない子どもはいません。
子どもが持っている本来の力を引き出し、
夢中になって遊び、学ぶことのできる
パッションあふれる熱いところ、
そして理想の大人像や目標達成に向かって
がんばれる身体という自分の人生を切り開くため
の土台、人間力を、私たち大人が「子どもの自己
決定を大切にすること」で作ってあげることができ
るのです。

コウルメイツのお母さんのためにコウルができること

子育ては

①過保護でも放任でもいけません。

→真の意味での「子どもを信頼し、見守ること」についてお伝えします。

②家が安心できる場所であることが大事です。

→お子さまの表情や体の状態、生きる姿勢、言動から、今の現状が生まれた要因がわかります。この要因をお伝えします。今ここからできることを一緒に考え、実行できるようサポートいたします。

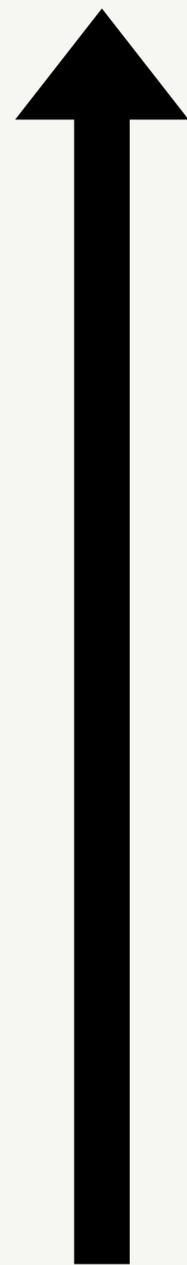
今が変われば、過去への意味づけも未来も変わります。

お子さまに対しての言葉掛け、行動を変えることで親子関係をより豊かなものにしていくお手伝いをいたします。

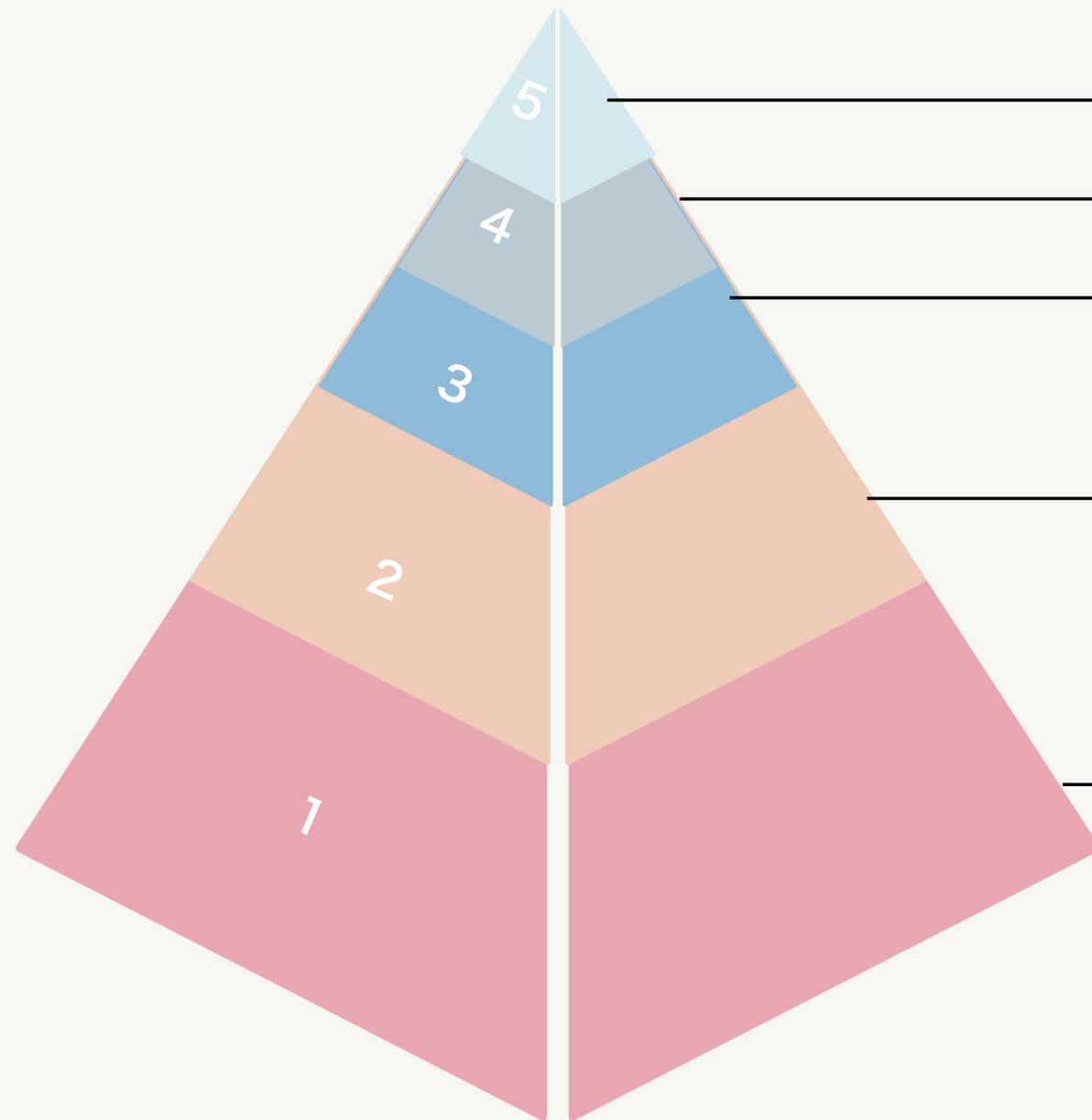


私にもできるかしら・・・？

まずはお子さまが輝き出すステップを確認しましょう！



順番



お子さまの自己実現/目標達成
お子さまが好きを極める
お子さまが自分を好きになる
自信をつける

コウルと一緒に
お子さまをサポート！
土台のおかげで加速♪

子どもの心身の安定

心と体を整える
①栄養バランスを考えた食事の用意
②体のメンテナンス

思春期における親子の信頼関係

お母さんの行動変容と環境の整備
①子どもの自己決定の尊重
②適切な距離維持 ③肯定的な言葉掛け
④お母さんの機嫌の維持

▶ お母さんの最重要ミッション！

お母さんをお願いしていること

①家庭が安心安全な場所であること。

ご家庭が「絶対安心の場」でない限り、お子さまは「外の世界で何かに挑戦しよう！」という気持ちになりません。ですから、お子さまが存分にダラけられる、弱音を吐けるような場所であるようにしましょう。

②お子さまのこころと身体の状態、波を把握する。

思春期のお子さまは心身のバランス維持が難しいです。

学校やご家庭で何か発生し、お子さまの様子に異変が見られた場合には、コウルにご連絡ください。

③食生活を整える。

貧血状態が長く続くと、感情の波が激しくなったり、無気力になったり、集中できなくなったり、起床が困難になります。お食事を通して一家団欒の時間を楽しみながら、栄養をしっかりとるからこそ子どもは元気に生き生きと活動できます。

④肯定的な言葉を使う。

お子さまを愛するがゆえに、尽きない心配。「イラっ」としてしまうこともたくさんあるでしょう。

分かっているけど、ついついお子さまに良くない言葉がけをしてしまうこともあるはずですよ。

お子さまが普段使っている言葉を聞くと、周囲の大人がそれまでお子さまに掛けてきた言葉や態度が透けて見えてきます。否定的な言葉は否定的な心身を生みます。

お子さまには可能な限り、肯定的な言葉掛けを心がけましょう。

⑤信頼関係を再構築する対話を心がける

お子さまが自分の頭で考え、出した答えを保護者さまに伝えるということはとてもパワーがいることです。

そして「お父さんやお母さんは私を受け止めてくれる。」という信頼があるからこそ、成り立つことです。

まずはそこまでお子さまができたことを存分にお喜びください。

もちろん大小さまざまなお子さまの自己決定について、保護者さまもすべてを受け入れるのは困難だと思います。

お子さまの考えと異なる意見を伝える場合には、お母さまやお父さまの考えを述べる前に、お子さまの言葉をしっかり最後までお聞きください。そして「話してくれてありがとう。うれしい。」と勇気を出して伝えてくれたお子さまに感謝を伝えてあげてほしいのです。

コウルアプローチ お母さんサポート体制



猛烈に困った時：ご相談

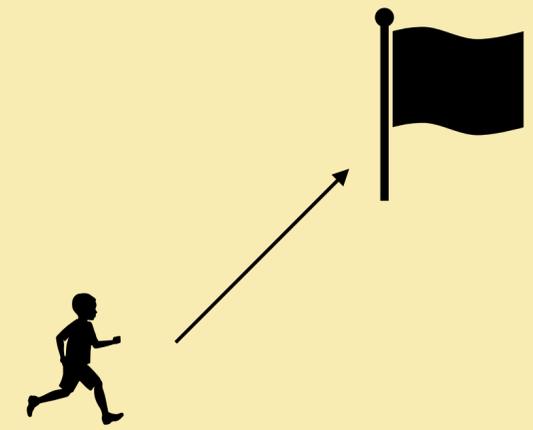
「鶴田先生と打ち合わせ」 (有料)

お母さま自身のお悩み、家族内での突然の問題発生などのご相談はこちらでお受けいたします。

お子さまに心配なところがある場合には
メッセージをお送りいたします。

お子さまに変わった様子が見られたらコウルからお母さんにご連絡。ご家庭でできる対応策を考え、ご提案させていただきます。できることから実践してみてください。

【お母さんのテーマ】
家庭が安心できる場所に。
子どもがやりたいことを猛烈に応援する。



こども版
コウルアプローチ

お子さまが大人になる上で
養うべき感覚、感性。
勉強や心のお掃除も含め、
その時にお子さまに
必要な学びを鶴田がご提案。
何をするかはお子さまが
決めます。

【お子さまのテーマ】
自分の道は自分で決める。

子どもの力を伸ばすのも、限界を決めてしまうのも「大人」です。

私はお子さまにどんなことをどのくらいすれば
ここまで成長できる、変わるというお子さまの未来が
はっきりと見えます。

同様に、現状維持のまま時間を過ごしていったら、
お子さまやご家族にどんな未来がやってくるのかも
見えます。

なぜならこの仕事を20年続けてきて、母子関係の改善に
数多介入してきた経験があるからです。

私はお子さまの変化を加速させるために、
お子さまが置かれている環境下で成長を阻害する問題の核が
見えたときには、ご家族に環境変化のための策をご提案し、
お力添えをお願いをしております。

これまで指導してきて実感していることは
素直ですぐに私からのアドバイスを実践してくださるご両親の場合、
短期間で著しく親子共に変わったということです。

その一方で、お子さまの心がよく見えていないお母さまや
自分が経験したことがない事案に直面しているお母さまは、
お子さまの現状、心身の現在地点が正確にわからないため、
常に不安がつきまといます。

そして不安を取り去る努力をせず、
「本当にそうなのかな？ こうなんじゃないの？」と
動かない親子はいつまで経っても同じことを繰り返し、
変化せずに終わります。

ここで申し上げておきたいことは
子どもの力を伸ばすのも、限界を決めてしまうのも
親、教師関係なく、大人なのです。
なぜなら接する大人が子どもにとっては環境そのものだからです。

お母さまにはお子さまの明るい未来のため、
時には厳しいことを申し上げることがあるかもしれません。
現実を直視し、それまの子育てを振り返っていただくことで
お母さま自身が傷つくこともあるかもしれません。

ですが、どうか私の言葉にはすべて意味があると思って
素直に耳を傾け、今できることは何かと選択、行動を
変えていていただきたいのです。

私はその覚悟がある方と是非ご一緒させていただきたいと
思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【コウルメイツのお母さん】猛烈に困った時にご活用ください！

鶴田先生と打ち合わせ



/ 30分~ 3,000円~

支払い方法：当日現金にてお支払いください。

ご予約方法：コウルのLINEアカウントに面談希望のご連絡をお願いいたします。

対面面談

ZOOM面談

通話

メールや
LINE/SNS

【問題発生時や足並みをそろえるための打ち合わせ、出勤など】

コウル講師からは、お子さまからいただいた相談で親御さまにご報告した方がいいなと判断される場合や問題発生時に、お子さま現状報告メールをお送りしております。メール内にはお子さまの状況詳細とその時点で対応可能であろうご家庭での対応策をご提案差し上げております。

講師からのご提案に関してお母さまから更なる話し合いを求められる場合や、家庭内・学校内での緊急事態発生に対するコウルの発動はすべてこちらに該当いたします。こちらは業務時間外での対応となるため有料となります。

○子育てのお悩み全般 ○家庭内部の問題に関するご相談 ○現状打破のための作戦会議 ○家庭訪問/緊急出勤

 ご相談時の注意点：自分はどう考え、どう動いていこうとしているのかをしっかりと考え、「自分なりの答え」を出した上でご相談ください。お母さまの考えに対して、私からの観点で新たな気づきをもたらす質問を重ねていたり、アドバイスをさせていただきます。

 コウルアカデミーをご受講されると、お子さまやご家庭に関する諸問題に対して、ご自身で解決に向けて動くことができるようになるため、こちらを利用する機会が減ります。是非一緒に学びましょう。

レッスン料金や月謝の目安

【各コース共通】 入舎金 ¥16,500（ご兄弟のどなたかが既に入舎済の場合、入舎金は ¥8,000）

【お月謝】 ①完全紹介制 コウルアプローチ（対面個別指導）

年間45回コース受講の場合

小学生 低学年 45分 ¥10,000~

中学生 3年生 120分 ¥30,000~

高校生 3年生（授業補講） 120分 ¥31,000~

※コウルアプローチのお月謝は、おひとりおひとりの心身の状態や学習習熟度、受講時間、受講頻度、入舎時期、受講人数によって料金が異なります。料金についてはご紹介様を介してお気軽にお問い合わせください。

【入舎をご検討のお客様】

コウルの教育に興味があり、お子さまのコウル入舎をご検討の場合には

STEP1 お子さまにお子さま用PDFファイルやYOUTUBEをお見せください。

STEP2 お子さまから「コウルで学びたい」といった興味、自発的姿勢が見受けられるかどうかご確認をお願い致します。

STEP3 お子さまが入舎を希望される場合には、
お問い合わせの「入舎希望フォーム」に必要事項をご入力の上、
送信願います。

▶コウルより返信が届くまでしばらくお待ちください。



コウルはお子さまの自己決定を大切にしております。

心のガソリンが満タンのお子さまのお越しを心よりお待ち申し上げております。



縦の糸と横の糸。卒業生も先輩も後輩も一緒になって1枚の布を織りなすコウルメイツ。

コウルメイツのママ受験実録！ 飯鉢さんが母として心掛けたこと

※2022年インタビュー

双子姉妹が模試で驚異の
175点アップを実現しました！

①コウルに入舎前と現在のお子さまを一言で表現するとどんなイメージでしょうか？

入舎前：勉強に自信がなく、勉強の仕方が分からずどうしたら良いかわからない状態。学校の先生も嫌いで授業も嫌っ！

入舎後：他の子よりはいつも慣れたり身につくまで時間がかかる2人ですが、よしこ先生やゆう先生の教えや努力が身になってきていて、自分の勉強の仕方に自信がついてきた印象です。理解できて勉強のやり方がわかるようになってきたからなのか、以前より机に向かう時間が増えているし、ダラダラ勉強せず、携帯は別の場所において割り切って勉強している。

② お子様が入舎してから内面的な変化を教えてください。

人見知りが少しずつ克服しているし、自分の思いを言葉にすることがまだ苦手な子もいるが、出来る様になっできたのではないかと思う。
勉強に対する自信がかなりついたと思う🙏

③受験期、お子様に対してどのような応援をされましたか。この1年、お母さんが心がけたことを具体的に教えてください。

自分も勉強はあまり好きではないし得意でもないし、あまり口うるさく言わないように気をつけていたつもりです。

ただ、ダラけて居る時はたまに喝を入れてあげる必要はあると思います。お母さんの喝👊ってたまにだと効く気がします！

でも見守る。なんでー!!なんでこんなに点数があがらないのとか、もやもやは何度もあったけど、お母さんが言っても結局は自分の気持ちややる気。

母は、ひたすら待つ。あまりイライラしない。旦那に陰で愚痴る笑 あとは美味しいものを食べさせたり、手作りご飯、たまには出かけて気分転換を。

④受験期において、お子様の様子がおかしいなと感じた時、どんな異変がございましたか。

2人ともあまり乱れませんでした。公立入試だったらまた気持ちが違ったのだらうと思いますが。落ちたらどうしよう…とかきちんと不安を口に出してくれるので、わたしはアドバイスしやすかったです。

⑤学業面において、受験までの1年間を振り返ってお子様に対して不安を感じたり、ハラハラしたりイライラしたりしたのは、どんな時でしょうか？

やっぱりコウルや学校の授業で勉強をしても、思うように点数があがらなかったり、理解していなかったり、勉強法をよしこ先生に初期に聞いたのに、上手く活用できていなかったり。学校の担任の発言も「これ以上伸びないだろう」とか、「今回だけ」みたいな言い方をされて言い返してやろうかと思ったくらいです笑。担任が子供を信じないでどーするの？と思った。携帯問題、SNSの誘惑も🙄💧でした。

⑥⑤の際、ご自身に対してとお子様に対してされたこと、気をつけたことはございますか。

ご自身に対して

友達や職場の人、よしこ先生、旦那に、愚痴ったり相談したり、自分もうまく息抜きやストレスを溜めないようにした。おいしいもの食べたり買い物したり。あまり考えないようにした。考えてもどうにもならない、どうにかなる、と前向きに。

お子様に対して

担任の先生の言い方がおかしかったことに対しては子どもとあの発言どう思った？とか聞いて話し合った。

子どもの味方でいるのは大事だと思うし、わたしも発言が悔しかったから!!それもあってやる気出たのかな？笑

こどもにはあまりうるさくいわないように、でもたまに部屋を覗いたり見守っていることをアピール。

コウルまでの送迎は大変な時もありましたが、子どもたくさんいると、なかなか1人だけとか2人だけとかを連れて送迎することもないから、色々話げできた楽しい時間でした。想いを聞き出せた時間。

⑦合格を手にした時、お感じになられたことを教えてください！

コロナでまさかの受験なし。せっかく成績アップしてきたし、力を試せる機会だったのに、嬉しいというよりは、これで良いのかなというもやもや感が多かった。（子どもたちもそうだったよう）

⑧お母様から見て、コウルはお子様にとってどんな場所だったのでしょうか？

学校よりも勉強がわかりやすい場所。よしこ先生が学校にいる先生だったらな、と何度も聞いた。すごく信頼していた。なんでも話せたのではないかな？

⑨これから受験を迎えるお子様がいらっしゃるお母様に対してアドバイスをお願いします！

子どもが1番緊張していると思うから親は見守る、大丈夫だよと言ってあげる、信じてあげる。美味しいご飯を作ることかな？
時間はかかりましたが本当に少しずつ変われたし、本当に頑張っていたと思う。信じて見守る大切さを痛感しました。



「子どもを信じて待つ」、「見守る」ことの本当の意味、意義を
飯鉢さんは受験と通して実感されました。これからもこの気持ちを忘れずに
子育てしていきたいとおっしゃっていただきました。
お母さんがどしっとしているからこそ、お子さまは安心して変われるのです。